

今般の新型コロナウイルスの感染拡大は、過去にないほどの将来不安を私達に突きつけており、県連では3月12日に知事に対し、県民生活の安心・安全に万全を期すよう要望を行いました。

その後3月18日に県連会長選が告示されましたが、今回の感染拡大による打撃については、今後の予測は全くつかず、大変な危機感を持っておりました。

そこで今こそ、これまでの会長としての6年間の経験を最大に活かし県政に寄与すべき時と考え、引き続き会長選に立候補することを決意し、その為に必要な推薦届を集めるため、各支部長に推薦のお願いに伺いました。

そして本日がその締切日ということで、先程、その手続を済ませたところであります。

しかしながら、その数日の間に感染拡大への懸念は極めて深刻な状況となり、まさしく緊急事態宣言の発令すら覚悟せねばならない状況にまで至っているのではと思っております。

そういった背景からか、国会議員、県議会議員、市町村議会議員や地域支部長などから「選挙は避けるべきでは」との声もあり、もし選挙となればそこに要する労力は決してゼロとは言い切れず、また、党組織や議会などの一致団結に及ぼす影響を考えれば、これまでに一度も行われていない会長選挙を実施することについては、党員の多くが納得しないのではなかろうかとの思いを私自身も日ごとに強く感じるようになりました。

これまでの6年間、常に県民に寄り添いつつ、究極は自民党による安定政権の維持として、選挙に強い県連を目標に運営してきました。そして、これまでの間同じ思いでタッグを組んできた星原幹事長の立候補届が選管に受理されたことがたった今確認でき、次期会長には、同じ理念の下でこれまで協力いただき、更なる発展を果たしていただける御仁が就任されることが確実となりましたので、選管に受理していただいたばかりではありますが、ここに立候補を辞退することといたします。

令和2年3月30日

坂口 博美